

04 創立50周年記念県内巡回展「アート」を開催



毎年行われる卒業・修了作品の中から買い上げた収蔵作品を選抜し、県下5会場で開催しました。大会会場（大分県立芸術会館）では、「美術科50年の歩み」と題して各年代作品の展示と、現在学生の指導

50周年記念事業として「アートの風」を大分空港ロビー（2011年7月26日～31日）を皮切りに5会場で開催。



にあたっている教員の作品も併せて展示しました。この展覧会で美術科の歴史と魅力を感じていただけたことと思います。

国東市／大分空港ロビー
7月26日（火）～7月31日（日）

日田市／パトリア日田
9月2日（金）～9月11日（日）

竹田市／竹田キャンパス
9月27日（火）～10月9日（日）

佐伯市／市民ギャラリー
10月18日（火）～10月28日（金）

大分市／大分県立芸術会館
「美術科50年の歩み展」
11月8日（火）～11月13日（日）

05 テオ・ヤンセン展に「ビーチアニマル」を出品



大分市美術館で開催されたテオ・ヤンセン展の会期に合わせて美術科で制作したオリジナル「ビーチアニマル」を展示し、2011年8月6日の七夕まつりに参加しました。

今回のプロジェクトに参加したのはデザイン専攻の短大1年生～専攻科2年生の10名。約1ヶ月の短い制作期間でコツコツと地道な作業が進められました。素材には新聞紙と薄い合板が使われておりオリジナリティのある作品が完成。当日は新聞紙の独特な素材感が多くの方々の目を引き好評でした。テオ・ヤンセン展の会期中は大分市美術館に展示され、現在は学内に展示しています。（写真は2011年大分七夕まつりの模様。）

06 「おおいた協働ものづくり展」に出展



2011年10月8日～10日にプロダクトデザイン分野の学生がアートプラザで行われた「第6回おおいた協働ものづくり展」に出展しました。

「おおいた協働ものづくり展」は大分市の製造業の紹介や県内大学や高等専門学校等の研究成果の発表を通して大分県のものづくりについて一般の方々に知ってもらおうというイベントです。今回はプロダクトデザイン分野で学ぶ2年生の前期課題作品を中心に展示。3Dプリンターで出力したモデルや、木工作品などおよそ20作品が展示されました。会期中は実際にデザインした学生が作品の説明を行い、学生にとっては学外での初の発表の場となりました。2012年度の『第7回おおいた協働ものづくり展』にも出展予定です。

07 地域ふれあいアート講座の報告



2011年11月25日に生活造形分野を学ぶ1年生22名が豊後大野市立新田小学校で「地域ふれあいアート講座」を開催しました。

美術科では、毎年県内の小学校の児童を対象にアイデアを「かたち」にする面白さや、手を使って創作する楽しさ等を体験してもらうことで、地域の芸術文化の向上に貢献する事を目的として巡回講座を行っています。今回は豊後大野市立新田小学校の1年生～4年生の児童49名を対象に1、2年生と3、4年生に分かれデザイン画を制作しました。1、2年生では「木」をテーマに枝や落ち葉、木の実を持ち寄り、絵具やクレヨンで彩られた画用紙に貼付けオリジナルの「木」を制作。3、4年生では「自分の顔」をテーマに雑誌や新聞から切抜いた顔のパーツを画用紙に貼付け絵具やクレヨンで顔を表現した。完成した作品の一部は第31回県ジュニアデザイン展で展示される予定です。

08 イルミネーションプロジェクト「竹ほたる」



豊後竹田駅前、稲葉川河畔にデザイン専攻生活造形の学生が手がけた「竹ほたる」が2011年12月～2012年1月末まで2ヶ月に渡って展示されました。

竹田の町並みや、城下町竹田の雰囲気合ったイルミネーションのあり方を探りながらアイデア出しを行い、稲葉川河畔を乱舞するホテルをイメージさせるプランに決定。制作は竹田市まちづくり実行委員会の協力のもと、竹マリと呼ばれる球状の立体を竹で制作しその周りに電飾を取り付けホテルを表現しました。第1回目だったのですが、地元の方々の反響が大きく24年度はさらに範囲を拡張した「竹ほたる」が展示される予定になっています。